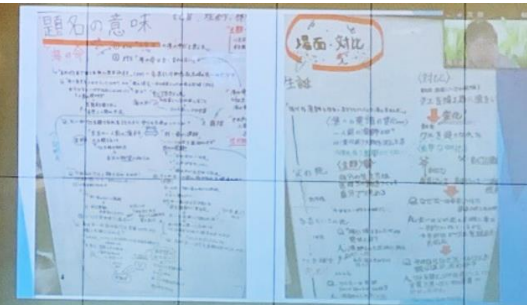
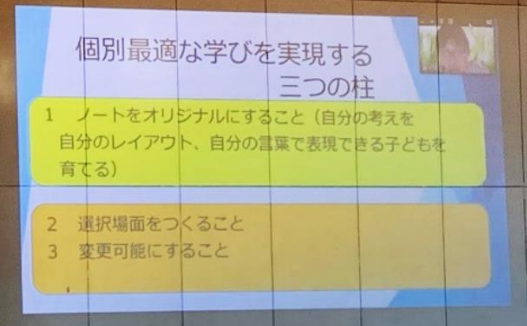


国語科教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	言葉による見方・考え方を身に付けるための国語科授業	
日時	令和 5年 8月 21日(月)	
会場	江別市立江別第二小学校	
講師	青木 伸生(あおき のぶお) 氏 筑波大学附属小学校教諭	
参加者	55名	
研修会 の 様子		本年度の理論研修会は、zoom で筑波大学附属小学校と江別市立第二小学校を繋いで開催しました。 まず、今年度の研究のテーマにもなっている「話す・聞く」とかかわって、対話の様相や、対話の促し方などについてお話いただきました。
		扱っていただいた教材は小学校1年生教材の「じどうしゃくらべ」と、小学校6年生教材の「海の命」でした。 「じどうしゃくらべ」では、教育出版の「はたらくじどうしゃ」との比較読みや、音声言語を重要視した教材の利用法を教えてくださいました。
		「海の命」では、自分のこだわりをもって読ませ、主題を自分の言葉で表現させるまでの過程について教えてくださいました。 「自分のこだわり」とは、青木先生が提唱されている「フレーム」のことであり、児童自身がどのフレームを使って読み進めていくかで個別最適な学びを保障するそうです。
		「個別最適な学び」や「対話的な学び」を確立させるためには、我々も今までの常識を変えていかなければならず、授業がぐちゃぐちゃになる勇気をもつことも大切だというお話に、参加者は大きくなずいていました。